

6/20 news  
青年海外協力隊

佐々木梢さんウガンダで活動

現在、青年海外協力隊としてウガンダで活動している佐々木梢さん（田沢湖生保内）が派遣前の6月20日、仙北市役所を訪れました。

佐々木さんは「中学の時、青年海外協力隊OBの本を読み興味を持った」のがきっかけで、6月から2年間、ウガンダのブシェニ県庁で村落開発普及員として地域おこしに取り組みます。「地域の活性化に役立つような多くのヒントを得て、帰国後に地元還元したい」と話しました。



抱負を語る佐々木さん  
青年海外協力隊・独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する開発途上国へのボランティア派遣事業

5/26 news  
秋田県スポーツ推進委員功労表彰

新山仁さん 高橋栄作さんが受賞

新山仁さん（角館町雲然）と高橋栄作さん（田沢湖神代）が秋田県スポーツ推進委員協議会（野中歌子会長）から表彰を受けました。

これは、長年にわたり（10年以上）委員として、体育・スポーツ振興に功績があり、地域の体育・スポーツ振興に精励された方に贈られるものです。



表彰された新山仁さん（写真右）と高橋栄作さん（写真左）

7/5 news  
角館町育英会

市へ角館町育英会財産を寄贈

昭和30年から56年続いた角館町育英会（仲野谷藤吾会長）の奨学資金貸与事業が、平成24年度から仙北市奨学資金、田沢湖町奨学金貸付基金と一本化されることに伴い、その財産が仙北市育英奨学資金の活用のため市へ寄贈されました。

寄贈額は、現金、債権併せて64,425,332円となります。

門脇市長は「仙北市の将来を担う学生を支援するため有効に活用させていただく」と話しました。



市長に目録を手渡す仲野谷会長（右から4人目）

6/25 news  
玉川河川公園クリーンアップ

角中サッカー部が奉仕作業

6月25日、角館中学校サッカー部員24人が日頃から活動の場として使用している玉川河川公園のクリーンアップを行いました。

公園の周りには空き缶やペットボトルなどのゴミが目立ちましたが、部員の皆さんはてきぱきと片づけていきました。



きれいになった公園です。マナーを守りゴミの持ち帰りにご協力ください。

まちづくり  
日記

No.43

『医療を守る②』

仙北市長  
門脇 光浩

平成22年9月の大仙市議会で、栗林市長は質問に対し、「仙北組合総合病院（JA秋田厚生連）の改築は、24年に着工し26年の開院を目指します」と答弁しました。このお話しを聞き、改めて角館総合病院の移転改築を早めなければいけないと思いました。

仙北市が医療改革を進めなかったらどうなるか…。患者は間違いなくサービスが厚くて、最新機材の整った病院に足が向かいます。それは医療スタッフも同様で、新たに整備された場所でバリバリ働きたいと思ってしまう。もちろん病気になる、ケガをしないことが一番です。ただ病院に頼らざるを得なくなると、患者に選んでもらえる病院を用意しておくことが重要です。また市内勤務の医師や看護師をつなぎ止めながら、加えて新たな医療スタッフを確保するには、市として地域医療に対するメッセージを発信しなければいけない、そのタイミングが来たと感じました。

そこで、角館総合病院については、平成26年秋の開院に向け、今後の取り組みを加速すると発表しました（当時）。一般的には病院改築を決定したと受け止められましたが、真意は医療改革に本気で取り組む決意でした。

実を言つと、市長着任後の1年は、届く苦情の多くが病院に関するものでした。病院関係者の発した言葉に、深く心が傷ついたと言つた患者の悲痛な訴えです。一方で、医師や看護師など医療スタッフの出入不足で起る加重労働。双方が追い込まれていると感じました。私は患者の心に寄り添うことはできますが、医療改革は医療スタッフの日常を理解できる専門機関と専門家が重要です。そこで、まず改革は組織から始めました。これまで独立して運営してきた市内各公的医療機関をお世話し、連携を橋渡しする医療局を新設（平成23年1月）。局の新設は医療改革のベースにあたります。このベースに次は魂を吹き込まなければいけません。

《次号に続く》

PICKUP TOPICS

副市長に  
田邊浩之氏が就任

7月1日、空席だった副市長に、元農林水産省職員の田邊浩之氏が就任しました。

田邊副市長は千葉県出身。農林水産省時代には、経営局経営政策課で農業法人化による所得向上に携わりました。

「秋田は出張で一度来訪したことがあるのだが、だからこそ新鮮な発想や提案ができると思う。それが職員と住民の皆様の提案・取組と結びついて、その効果が2倍

3倍となって仙北市が発展していくことで、皆様と人生の充実感を共有したい」とのこと。さらに、「そのためにも、仙北市内の秘湯めぐり、できれば全湯制覇。そして、何より秋田・仙北のおいしいお酒・食べ物を食べ尽くしたい。森の中のたくさんのお酒も生忘れられない。まだまだ自分が知らない秋田・仙北がある。自分で魅力を説明できなければ」と語ります。

奥さんと小学校5年生・1年生の娘さん2人も夏休み突入後の8月に仙北市に来ます。家族ともども仙北市の魅力堪能して、いろいろな方々に広げてくださいな。



【生年月日】昭和46年1月21日生（41歳）

【学歴】

千葉大学大学院園芸学専攻科修了

【主な職歴】

平成8年～ 食品流通局砂糖類課等

平成14年～ 食糧庁企画課等

平成17年～ 総合食料局商品取引監理官付補佐（総務班）

平成21年～ 経営局経営政策課課長補佐（農業法人班）

平成23年～ 食料産業局食品製造卸売課課長補佐（市場整備班）